

# 個別の指導計画（就学前）

令和 △年度

個別の指導計画（ 4月～ 9月）

〇〇幼稚園・保育園・こども園

氏名	会津 〇〇	男	在籍学級	4 歳児
		・	担任氏名	□□ □□
		女	支援員名	◇◇ ◇◇

本人・保護者の願い	
本人	お友達と仲良くしたい。
保護者	・やりたいことや困っていること、自分の気持ちを言葉で伝えられるようになってほしい。
	・行事のときなどに、見通しをもって落ち着いて参加できるようになってほしい。

長期目標	〇集会活動や行事などの集団活動に見通しをもって参加できる。	年度末までに達成できそうな目標にする。幼児の視点で設定する。
------	-------------------------------	--------------------------------

合理的配慮	<p>【教育内容・方法】・注目を促してから話す。</p> <p>・慣れない活動を予定しているときには、事前に活動場所を見せ、何をどのくらい行うのか伝えておく。</p> <p>【支援体制】・学級で使用する写真や絵カードは、担任、副担任、支援員で統一する。</p> <p>・行事や集団活動では、支援員が個別に補足説明したり、取り組み方を示したりする。</p> <p>【施設・設備】・一斉指導のときには、遊具や玩具の棚のカーテンを閉め、視界に入らないようにする。</p> <p>・座席は、掲示物が視界に入りにくい位置にし、隣に支援員がついたり、モデルになるような幼児を配置したりする。</p>	個別の教育支援計画から転記。幼児の困り感を軽減するために、大人が行う配慮を記入します。
-------	---	---

	Step1 子どもの姿	Step2 短期目標	Step3 具体的な援助・手立て ☆担任の役割★支援員の役割	Step4 評価
健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動遊びは年齢相応にできるが、不注意の傾向があるため、危険回避が難しいことがある。</li> <li>・偏食。少量ずつ盛りつけると、食べられることが増えている。</li> <li>・定時排泄で日中は下着で過ごせる。</li> </ul>	<p>〇予定表や手順表を見ながら、支援員と一緒に集会活動や行事に参加できる。</p>	<p>☆予定表は活動をイメージしやすい絵と平仮名文字で表し、ホワイトボードに掲示し、朝のお集まりで知らせる。</p> <p>☆活動の始まりに予定表を見せる。</p> <p>★集会の時には、列の廊下側に並ぶように配慮する。流れを示したカードをプログラムの流れに合わせて提示し、いつ、何をするのかや終わりまでの活動の流れを一緒に確認する。</p>	<p>〇登園すると、ホワイトボードを見て確認する様子が見られた。苦手な活動があるときには、繰り返しやり方を聞くことがある。</p> <p>〇支援員と一緒にカードで確認することで、最後まで参加できることが増えている。</p> <p>▲大きな音が出る活動では、落ち着かなくなることがあるため、事前にどんな音が出るのか知らせる必要があった。</p>
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のお集まりは、5分ほどならば支援員の先生と一緒に参加できる。</li> <li>・大人が仲立ちすることで、簡単なルールのある遊びを友達と一緒にできるようになってきた。</li> <li>・誕生会や〇〇集会など、大きな集団での活動や、初めての活動では、落ち着かず、途中で教室に戻ってしまう。</li> </ul>	<p>実態に応じて、長期目標の達成に向けて、半年程度で達成できる目標とします。例として複数挙げていますが、実態に応じて生活全般にかかる内容を1つか2つ程度設定します。</p>	<p>☆行事のときの座席や並び方の配置について、本人の安心できる場所を確かめる。</p> <p>★場所や遊具の写真カードから、行きたいところ、やりたいものなどを選ぶ機会を設け、「～へ行きたい。（したい。）」と一緒に担任の先生に伝える。</p>	<p>〇落ち着きたいときなどに、カードを見せてほしいと求めるようになった。支援員と一緒にならば、担任の先生に「～へいきたい（したい）」と伝えることができるようになってきた。</p>
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物に興味をもち、積極的に世話をするが、夢中になると終了時刻に活動を終えることが難しい。</li> <li>・友達が遊んでいる玩具に次々に興味をもち、試そうとする。1つの玩具で落ち着いて遊べる時間はまだ短い。</li> </ul>	<p>〇「～へ行きたい。」「～をしたい。」「～ほしい。」など、言葉で気持ちを伝える。</p>	<p>☆一斉での指示を出すときに、名前を読んで注目したことを確認してから話す。</p> <p>★気づかないときに、注目を促す。担任の話の後に、何をするのか理解状況を確認し、補足説明する。</p>	<p>誰が、どの場面でどのようなかわりをするのか、具体的に記入します。手立てとして、使用するツールや使い方など、複数の目で、共通理解を図って設定するようにします。</p>
言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思い通りにならないときに、友達を押す、ほしい玩具を黙ってとってしまうなどすることあるが、教師がモデルを示すと「かして」「一緒に遊ぼう」など、言葉で伝えようとするが見られる。</li> <li>・時計やカレンダーの数字、友達の名前に興味をもち、何と書いてあるのか質問することが見られる。自分の名前が見て分かる。</li> </ul>	<p>〇名前を呼ばれたときには、話し手に注目できる。</p>		
表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵を描いたりつくったりすることを好み、様々な色や形を試して取り組むことができる。</li> <li>・絵具や粘土、砂遊びなど、直接、手で触れて汚れるような素材には、苦手意識がある。</li> <li>・歌詞を覚えたり、イメージしたことを言葉で表現するには時間がかかるが、動きを真似たり、リズムに合わせて踊ったりすることができる。</li> </ul>	<p>課題となっていることに偏らず、できていること、対象児の良さもわかるように記入します。今年度の作成時の様子を記入します。</p>		